

風水害対策

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

まずは、
確実な情報が大事！
その次に迅速な対応！

大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策。



大雨注意報

大雨注意報・ 警報・特別警報 の発表基準

大雨によって災害が起こるおそれがあると予想される場合。

大雨警報

大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合。

大雨特別警報

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予測され、若しくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発令されます。
気象庁にて、地震により、地盤の緩みを考慮し、揺れの大きかった市町村については、大雨警報・注意報の発表基準を暫定的に引き下げて運用する場合があります。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意をする。
- 市や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常時持出品を準備しておく。

- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 飲料水や食料を最低でも3日分、できれば1週間分確保しておく。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。
- 浸水に備えて土のうなどを準備しておく。

つねに気象情報には、
注意して
おきましょう！



■ 1時間の雨量と災害発生状況 ■

激しい雨

1時間に30～50mmの雨



バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れやがけ崩れが起こりやすくなります。避難の準備を。

非常に激しい雨

1時間に50～80mmの雨



滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川は氾濫し、水害発生の可能性が高まります。

猛烈な雨

1時間に80mm以上の雨



息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。

家の周囲の安全対策

● 屋根

不安定な屋根のアンテナの補強。
瓦のひび、割れ、ずれ、はがれがないか。
トタンのめくれ、はがれはないか。

● ベランダ

鉢植えや物干し竿など
飛散の可能性が高いものは
室内へ。

● 窓ガラス

ひび割れ、窓枠のガタツキは
ないか。強風による飛来物など
に備え、飛散防止フィルムを貼る、
外側から板でふさぐなどの処置を。

● 雨どい・雨戸

雨どいに落ち葉や砂が詰まっていないか。
継ぎ目の外れや塗装のはがれ、腐りはないか。
雨戸にガタツキやゆるみはないか。

● 外壁

モルタルの壁に亀裂はないか。
板壁に腐りや浮きはないか。
プロパンガスのボンベは固定
されているか。

● 側溝

側溝が詰まると、道路冠水
や浸水の原因になります。
日頃からの清掃にご協力
をお願いします。

